

リハビリテーション医学 第2版



大好評をいただいた『リハビリテーション医学』が、資料写真や映像、CGを一新して16:9のワイドな画角で遂にDVD化！チーム医療としてのリハビリテーションの実際と、その解剖学的・生理学的な裏付けをわかりやすく解説します。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの卒後研修、卒前教育用にご活用ください。



● DVD 全 20 巻

■ 各巻価格 ￥32,000 (本体価) + 税
■ セット価格 ￥640,000 (本体価) + 税

■ 総監修：米本 恭三 東京慈恵会医科大学 名誉教授 / 首都大学東京 名誉教授

vol.1 脳卒中(急性期)のリハビリテーション 37分

■ 原案監修：安保 雅博 東京慈恵会医科大学 医学部 リハビリテーション医学 主任教授



脳卒中の分類と病態(脳内出血、クモ膜下出血、脳梗塞)、疫学(発症頻度、死亡率など)、急性期の評価(NIHSS、JCS など)について説明し、脳卒中急性期のリハビリテーションとして良肢位保持、体位変換、ROM 訓練、ヘッドアップ訓練、座位耐力訓練、移乗訓練などについて解説します。

vol.2 摂食・嚥下障害 42分

■ 原案監修：才藤 栄一 藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学 I 講座 教授

■ 原案：柴田 斉子 藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学 I 講座



摂食・嚥下の生理(解剖、嚥下モデル)、摂食・嚥下の評価(問診、スクリーニング検査、精密検査(嚥下造影検査/嚥下内視鏡検査)など)について説明し、摂食・嚥下のリハビリテーションとして、間接訓練、直接訓練、代償的手段、代償的栄養法、手術的療法、口腔ケア、チーム医療などについて解説します。

vol.3 排尿障害 38分

■ 原案監修：正門 由久 東海大学 医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学 教授 / 東海大学医学部付属病院 リハビリテーション科 科長 / 東海大学医学部付属病院 リハビリテーションセンター センター長



排尿障害のメカニズム、排尿機能の病態(尿失禁の分類、神経因性膀胱、過活動膀胱、薬剤性排尿障害)、排尿機能の評価(基本的評価、精密検査(画像診断、尿流動態検査))について説明し、排尿障害のリハビリテーションとして、薬物療法、理学療法、作業療法、行動療法、言語療法などについて解説します。

vol.4 切断と義肢 37分

■ 原案監修：飛松 好子 国立障害者リハビリテーションセンター病院 副院長



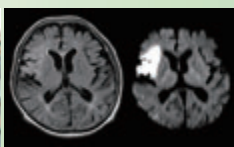
四肢切断と離断について説明し、切断のリハビリテーションとして、大腿切断を中心とした断端の管理、義足装着前訓練、義足装着訓練、義足の歩行異常について解説します。また義肢の基礎知識として、義足(大腿義足、下腿義足)、義足の製作、義手を紹介します。

vol.5 呼吸器のリハビリテーション 46分

■ 原案監修：里宇 明元 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室 教授



主にCOPDの包括的呼吸リハビリテーションに焦点を当て、呼吸リハに必要な病態生理、評価(問診、身体所見、呼吸機能、呼吸困難、運動耐容能、ADL、心理・QOL)、呼吸リハの実際について説明します。また急性期・周術期の呼吸リハ、神経筋疾患の呼吸リハについて解説します。



vol.6 脊髄損傷 47分

■ 原案監修：田島 文博 和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学 教授



脊髄損傷の分類、疫学、病態生理、高位診断、そして褥瘡から発症する感染症などについて説明し、リハビリテーションとして褥瘡の予防、泌尿器科的管理、生活習慣病対策としての運動療法、社会資源の活用などについて解説します。

vol.7 神経・筋疾患 42分

■ 原案監修：柳澤 信夫 東京工科大学 医療保健学部 長 / 信州大学 名誉教授 / 関東労災病院 名誉院長



パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ギランバレー症候群、筋萎縮性側索硬化症(ALS)について、その主な症状や徴候、評価などについて詳細に説明し、運動療法や薬物療法、手術療法などについて解説します。

vol.8 小児の発達障害 42分

■ 原案監修：君塚 葵 心身障害児総合医療療育センター 所長



発達障害として脳性麻痺、二分脊椎、筋ジストロフィーについて、その分類、原因、症状、合併症などについて詳細に説明し、臨床経過に沿ったリハビリテーション、整形外科手術、薬物療法などについて解説します。

vol.9 認知症 42分

■ 原案監修：三村 将 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室 教授



認知症の分類と病態(認知症の病因、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症など)、認知症の診断について説明し、認知症のリハビリテーションとして、薬物療法(中核症状、周辺症状)、非薬物療法(集団リハビリテーション、個別リハビリテーション)、環境調整、地域での援助について解説します。

vol.10 失語症 39分

■ 原案監修：安保 雅博 東京慈恵会医科大学 医学部 リハビリテーション医学 主任教授

■ 原案監修：渡辺 基 東京慈恵会医科大学付属病院 リハビリテーション科



失語症の病態、言語症状、タイプ分類、評価などについて説明し、言語情報処理モデルに基づくリハビリテーションと、磁気刺激療法などについて解説する予定です。

リハビリテーション医学 第2版

vol.11 脳卒中の回復期

35 分

■原案監修：水間 正澄 昭和大学 医学部 リハビリテーション医学講座 教授
■原案監修：菅原 英和 医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院 診療部長

2000年に制度化された回復期リハビリテーション病棟について説明します。さらに、そこでの代表的な疾患である脳卒中について、麻痺や感覚障害など、さまざまな障害と対応するリハビリテーションを紹介し、チーム医療の必要性などを解説します。

vol.12 疼痛

38 分

■原案監修：栢森 良二 帝京大学 医学部 リハビリテーション科 教授

疼痛のメカニズム(痛みの上行路、悪循環、下行変調路)、痛みの分類(急性疼痛、慢性疼痛、侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、心因性疼痛)、疼痛の評価について説明し、疼痛のリハビリテーションとして、薬物療法、神経ブロック、外科的療法、理学療法、認知行動療法などについて解説します。

vol.13 関節リウマチ

40 分

■原案監修：水落 和也 横浜市立大学附属病院 リハビリテーション科 部長・准教授

関節リウマチの病態や経過、症状や合併症などについて説明し、新しい診断基準や寛解基準、検査法を紹介し、治療では、メトトレキサートや生物学的製剤を中心とした薬物療法をはじめ、手術療法、基礎療法、そしてリハビリテーションについて詳細に解説します。

vol.14 高次脳機能障害

32 分

■原案監修：渡邊 修 東京慈恵会医科大学 医学部 リハビリテーション医学 教授

高次脳機能障害の原因、症状による分類(注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害、記憶障害、失行症、半側空間無視、半側身体失認など)、診断と評価について説明し、それぞれの症状に対する個別の対処法と、包括的な認知リハビリテーションについて解説します。

vol.15 心臓のリハビリテーション

40 分

■原案監修：牧田 茂 埼玉医科大学 医学部 リハビリテーション科 教授

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)と慢性心不全の病態、運動療法の有効性について説明し、リハビリテーションとして、急性心筋梗塞、開心術後、慢性心不全に対する運動療法を中心とした包括的心臓リハビリテーションについて解説します。

vol.16 小児疾患のリハビリテーション

35 分

■原案監修：芳賀 信彦 東京大学 大学院医学系研究科 リハビリテーション医学 教授

小児疾患(ダウン症、下肢切断、骨系統疾患(軟骨無形成症、骨形成不全症)、低出生体重児)の特徴や症状、合併症などについて説明し、それぞれのリハビリテーションとして、早期教育プログラム、運動療法、薬物療法、呼吸理学療法などについて解説します。

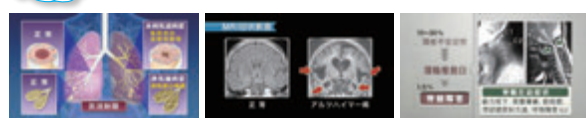
vol.17 内部障害のリハビリテーション

40 分

■原案監修：上月 正博 東北大学大学院 医学系研究科 内部障害学分野 教授

内部障害として閉塞性動脈硬化症(ASO)、慢性腎臓病(CKD)、末期腎不全、非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)、糖尿病、肥満症の病態について説明し、運動療法や食事療法を中心としたリハビリテーションについて解説します。

「つづきポイント」解剖学や生理学の知識に基づいて、障害がおこるしくみがわかる



「つづきポイント」実際の患者さんの姿を多数収録。リハビリテーションの実際がわかる



「つづきポイント」チーム医療の重要性や意義がわかる



vol.18 骨粗鬆症のリハビリテーション

38 分

■原案監修：林 泰史 前東京都リハビリテーション病院 院長

骨粗鬆症の定義、病態、分類、骨粗鬆症の評価と診断について説明し、骨粗鬆症のリハビリテーションとして、薬物療法、運動療法、食事療法について解説します。また骨折を予防するための転倒予防について紹介します。

vol.19 運動器のリハビリテーション 1

36 分

■原案監修：木村 彰男 慶應義塾大学 リハビリテーション医学・医工連携 教授
■制作協力：宇沢 充圭 特定医療法人慶友会 慶友整形外科病院 理事長
■原案：大高 洋平 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室 助教
三村 聡男 慶友整形外科病院 リハビリテーション科 部長

日本における代表的な運動器疾患について説明し、運動器疾患全般に対して行われるリハビリテーションとして、運動療法や物理療法、装具療法、ADL訓練について解説します。また、腰痛のリハビリテーションについても解説します。

vol.20 運動器のリハビリテーション 2

46 分

■原案監修：木村 彰男 慶應義塾大学 リハビリテーション医学・医工連携 教授
■制作協力：宇沢 充圭 特定医療法人慶友会 慶友整形外科病院 理事長
■原案：大高 洋平 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室 助教
三村 聡男 慶友整形外科病院 リハビリテーション科 部長

上肢の運動器疾患として肩関節周囲炎、橈骨遠位端骨折、下肢の運動器疾患として変形性膝関節症、大腿骨近位部骨折について、それぞれの病態と評価などについて詳細に説明し、運動療法や手術療法などについて解説します。

©2012 ~ 2015

制作著作



株式会社 医学映像教育センター <http://www.igakueizou.co.jp>

本社 / 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1-8-17 TOYA BLDG.7 TEL: 03-3329-1241 FAX: 03-3303-1434

関西営業所 / 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アースビル 511 TEL: 06-6150-3301



申し込みはコチラ!

まずは、「内容確認・検討」として
試写サービス(無料)をご利用ください!
お問い合わせ : 0120-377-189
[フリーコール]